

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 6 月 23 日

評価対象事業		評価者	生涯学習課長 中島 丈夫	
教育-49	生涯学習センター推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生涯学習課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	4-(5) 生涯学習	施策の方針	4-(5)-①生涯学習環境の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習教養セミナー(4セミナー)を実施した。 生涯学習情報誌「鎌倉萌」を発行した。 生涯学習センター主催(生涯学習推進委員及び指定管理者が企画・運営する各種講座・イベント等、)について新型コロナウイルス感染症防止対策を行い実施した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	生涯学習教養セミナー等開催事務	旅費	生涯学習センター推進事業の数(セミナー数)	4 / 2	5 / 4	5	80%
02	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業委託	情報誌及び講座等の実施について、年度当初予定のとおりか進行	32 / 2,451	32 / 5,000	80 / 0	100%
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/		
			一般財源	2453 /	5004		
			事業費の合計(千円)	2,453 /	5,004	0	
		人件費(千円)		11,009	1,949		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.0	1.0	0.2	0.2		
会計年度任用職員	4.0	1.0	7.3	0.3		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	生涯学習教養セミナー等開催事務	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、当初予定していたセミナーの1本を中止し、4セミナーを実施した。	市民が学習成果を生かすことができる場を提供した。	セミナーを開催している「生涯学習指導者の会」が会員不足、高齢化等により、令和5年度で解散するため、市民が学習成果を生かすことができる場をどのように提供していくか検討が必要である。
02	生涯学習推進事業	新型コロナウイルスの感染者数増加により、日程や内容の変更はあったが予定通り行うことができた。	生涯学習推進委員会による情報誌の発行、講座等の企画・運営を担うなど、市民が主体的に生涯学習に参加した。	生涯学習を支える人材の確保、高齢化に伴う跡継ぎの育成が課題。また、社会要請に応じた多様なニーズへの対応、ICTを活用した学びを止めない工夫が求められる。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	1 民間によるサービスで代替できる事業がある
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済
		○-1 受益者負担を求めているが、その額や対象等を再検討すべき事業がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済
		○-1 市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要な事業がある
	協働実施済の場合のパートナー	鎌倉CITYパートナーズ 鎌倉市生涯学習推進委員会

(3) 総合評価

※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
令和4年度、鎌倉市生涯学習センターの管理運営について指定管理者制度を導入し、指定管理者と市民ボランティアである鎌倉市生涯学習推進委員会が協働して講座やイベントの開設、多様な学習情報を提供し、生涯学習センター事業の推進に寄与した。また生涯学習センター主催事業として民間のノウハウを活用しながら、現役・若年世代の参加の促進、社会要請に応じた多様な講座、ICTの活用など事業の拡大を目指した講座等も企画された。今後は、生涯学習を支える人材の確保や市と指定管理者との連携等について検討する必要がある。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	生涯学習教養セミナー等開催事務						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
セミナーの実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		8	5				
	実績値	4	7	4				
	達成率		87.5%	80.0%				

指標(単位)	【生涯学習推進事業】情報誌発行について、年度当初の予定のとおりか						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
情報誌の発行回数と講座の実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		6.0	3.0				
	実績値	4.0	6.0	3.0				
	達成率		100.0%	100.0%				

指標(単位)	【生涯学習推進事業】講座実施について、年度当初の予定のとおりか						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
情報誌の発行回数と講座の実施状況を把握することで、実績を評価する。	目標値		74.0	29.0				
	実績値	1.0	67.0	29.0				
	達成率		90.5%	100.0%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--